



# 八 剣 山 通 信

第52号

八 剣 山 発 見 隊

2006年 7 月 30日 発行

7月29日(土)

「さくらんぼの収穫作業と蛍の探訪会」を実施しました。

## 【行事の概要】

7月中旬から下旬にかけて、多くの人を訪れてさくらんぼ狩りでにぎわっていた果樹園も、収穫されて実がほとんど見られなくなった木や、熟しすぎて割れたり腐れが入った実が目立つようになってきました。

しかし、よくよく木の上の方をみてみると、収穫されずに残っていたり、熟するのが遅れて今ごろ熟している実が結構残っているのがわかります。

この実を収穫しながら口に運んで、過ぎ去ろうとしている「さくらんぼの季節」に思いをはせるとともに、収穫祭の時に販売する「サクランボジャム」の原料として保存しようと思います。

同時に発見隊の畑においても、秋の収穫祭に向けた農作物として販売するための、大根やレタスなどの定植作業も行っているとしています。

また暗くなってからは、八剣山果樹園周辺の小川や沼地に生息している蛍の探訪会を行います。

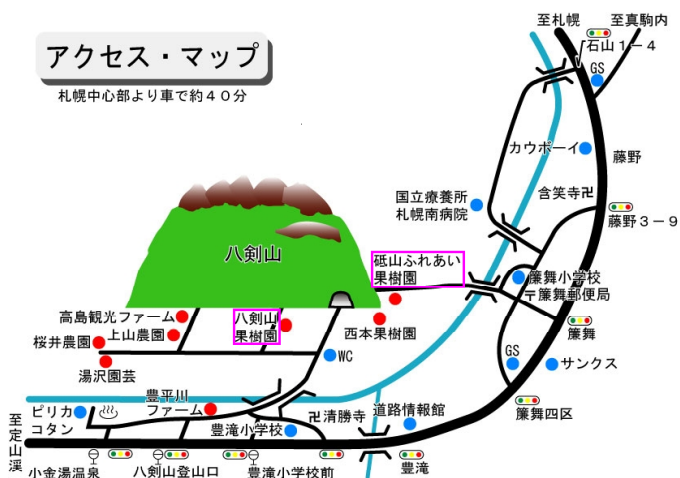
最近ではほとんどに見かけることができなくなりましたが、真っ暗な闇の中において、ほんのりと照らし出す蛍のあかりを観察しながら、残されている自然の営みを感じてみたいと思います。

・主 催：八剣山発見隊

## 【今回の行事開催場所】

### アクセス・マップ

札幌中心部より車で約40分



今回実施した場所

果樹を育てる作業体験者を募集しています(ボランティア)。

・8月 ぶどうの芽かき、袋かけ 等

砥山ふれあい果樹園(瀬戸修一) TEL&FAX 011-596-2694

## 【行事の感想】

八剣山周辺にある果樹園のさくらんぼも、ほぼ終わりに近づいてきたようで、多くの実が腐れたりカビが生えたりしていました。その中から、傷んでいない実だけを選別して収穫し、今年最後となるさくらんぼの味を満喫するとともに、ジャムの原料とするため、実から種と軸の部分に分けて、実の部分は1キログラムごとにビニール袋に入れ、冷凍庫に保存しました。本日保存した分は14袋でした。

軸の部分については、さくらんぼ茶の原料として、お茶に詳しい会員に依頼してお茶を作ることになったほか、種については、試験的に枕の中に入れることになり、きれいに水洗いしたところです。これにより、八剣山発見隊による今年の「さくらんぼ」の季節は終了しました。

さくらんぼの作業が終了後、蛍を観察するため、参加者全員で夕食を取って暗くなるのを待ちました。八剣山果樹園のさくらんぼ園地の中を流れる小川の周辺に生息しているとの報告から周辺を探したところ、小川のすぐそばの草の上に、ゆっくりと点滅するように光る蛍を見つけ、参加者全員、自然の営みに大いに感動したところです。



【収穫したさくらんぼの種取り作業】

## 【今後の行事予定】

- ・ 8月20日 果物の加工試作会
- ・ 9月(未定) 定山溪まで歩こう会

発行：八剣山発見隊事務局(事務局長 山澤 敬)  
061-2274 札幌市南区小金湯510番地  
Tel 011-596-2920 FAX 011-596-2920  
<http://sapporo.cool.ne.jp/hakkentai/>



## さくらんぼの収穫作業と蛍の探訪会



【 さくらんぼの収穫作業 】



【 収穫されたさくらんぼ 】



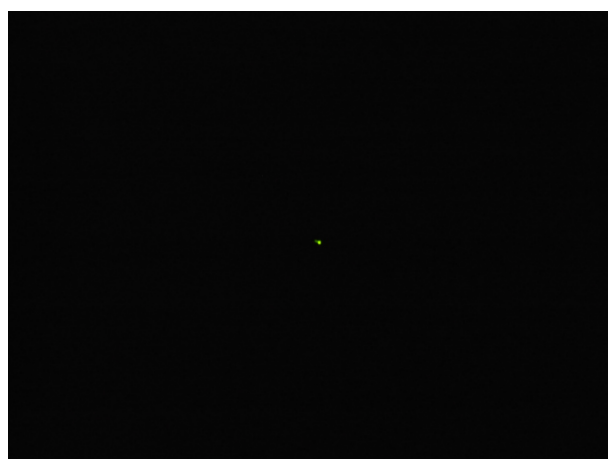
【 さくらんぼの種取り作業 】



【 八剣山発見隊の農園 】



【 種を取り袋詰めされたさくらんぼ 】



【 点滅する蛍のあかり 】

